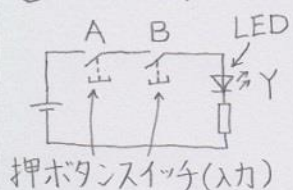


343: 論理回路①

論理回路(ロジック回路): 入力に応じて一定の論理により出力する回路で、入力信号1 or 0の組み合わせで出力信号を表現できる

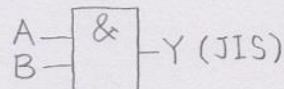
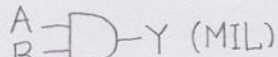
① ^{アンド}AND回路(論理積回路): 入力信号が全て1(オン)になった時に出力信号が出る回路



押ボタンスイッチ(入力)

論理式: $Y = A \cdot B$

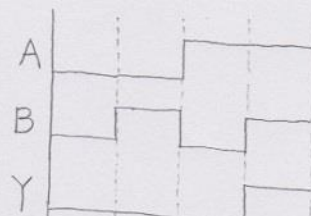
図記号



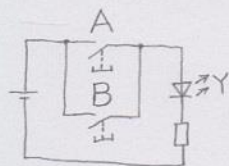
真理値表

入力A	入力B	出力Y
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

タイムチャート

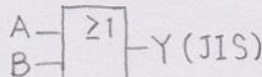
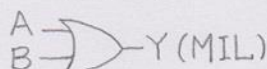


② ^{オア}OR回路(論理和回路): 入力信号が一つでも1になれば出力信号が出る回路



論理式: $Y = A + B$

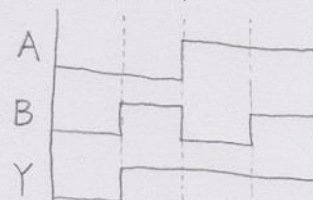
図記号



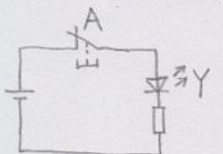
真理値表

入力A	入力B	出力Y
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	1

タイムチャート



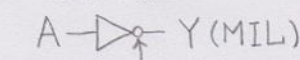
③ ^{ノット}NOT回路(否定論理回路): 入力信号が0の時に出力信号が出る回路



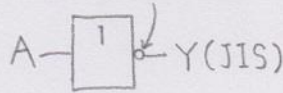
論理式: $Y = \bar{A}$

Aバー

図記号



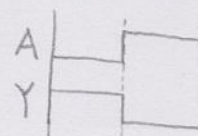
信号を反転する表示



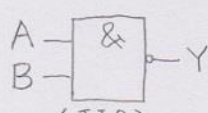
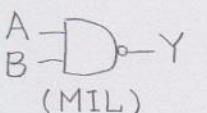
真理値表

入力A	出力Y
0	1
1	0

タイムチャート



④ ^{ナンド}NAND回路(否定論理積回路) AND回路の出力を否定させた回路

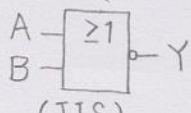
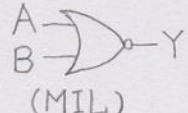


図記号

論理式: $Y = \overline{A \cdot B}$

A	B	Y
0	0	1
0	1	1
1	0	1
1	1	0

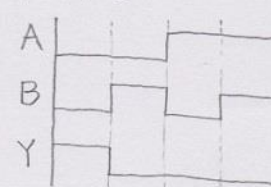
⑤ ^{ノア}NOR回路(否定論理和回路) OR回路の出力を否定させた回路



図記号

論理式: $Y = \overline{A + B}$

A	B	Y
0	0	1
0	1	0
1	0	0
1	1	0



まずは論理回路から始まるのね

論理回路の基本的回路はAND, OR, NOTの3つ

NAND, NORはこれらの組み合わせ(*EX-ORは次ページ)

①の回路例はシーケンス制御回路の使用記号を

